



# トレセンの夏!



平成30年8月4日(土)～6日(月)、五色台少年自然センターにて青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター(以下、トレセン)を開催しました。

トレセンは、3日間の集団生活を通して児童・生徒が身のまわりや社会、人々のニーズに「気づき、考え、実行する」力を育むもので、赤十字の基本原則や健康安全プログラムなどを通して人道的な価値観を身に付けるほか、他者との集団生活の中で受容や寛容の精神、リーダーシップの取り方などを学びます。

今年は、小学校から7校、中学校から4校と高等学校から6校の計81名の児童・生徒が参加しました。



# 平成30年度青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センターに参加して

香川県青少年赤十字賛助奉仕団

委員長 漆原勝弘



香川県青少年赤十字賛助奉仕団は、下記の事項を中心に活動を行っています。

- ・青少年赤十字活動の充実・強化の支援
- ・青少年赤十字への加盟促進
- ・他団体との連携
- ・賛助奉仕団の研修と組織の強化

中でも、青少年赤十字活動の充実・強化の支援は、大きな柱であり、青少年赤十字指導者協議会との連携が重要となっています。

その意味で、今回の青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターに参加することは大きな意義があります。とりわけ、今年は、わたしたち賛助奉仕団が4人のリレーで全日程に参加できたことは、初めてのことであり、余計意義深く感じました。

完全参加は難しいところですが、子どもたちの1つの班をリレー形式にしる全日程共に活動できたことは、新たな参加のパターンではなかったかと感じました。

それにしても、子どもたちが自らの意志で参加し、わずか3日間の共同生活でこんなにも成長するのかと改めて感じました。

小・中・高校生が不安と緊張の中、初めからいきなり縦割りグループでホームルーム、ワークショップ、食事、フィールドワークに取り組んでいく中、次第にうちとけ、仲間意識が芽生え、“気づき・考え・実行する”という行動目標を意識して各自が自分の立場を自覚して活動し、小・中・高校生の壁をうまく乗り越えて高めあう姿は、まさに子どものパワーの偉大さだと感激しました。

中でも、授業ですぐ使える防災教材「まもるいのちひろめるぼうさい」などの資料を活用して、けがや防災について、グループで話し合い、まとめて発表する姿は堂々たるものでした。

ここで培った防災意識をはじめ今回の体験が、それぞれの学校で生かされ、青少年赤十字の精神が香川県中に広がっていけばと念じます。

それが、わたしたち賛助奉仕団の求めている目標でもあります。

それもこれも、青少年赤十字指導者協議会の先生方、日赤香川県支部の方々のご活躍と奉仕の賜だと感謝の念でいっぱいです。ほんとうにありがとうございました。

／ 今年は私たち4人が参加しました！  
／ 皆さんも一緒にやってみませんか？

